

# 会 議 録 要 旨

会 議 名		平成28年度 第4回藤沢市下水道運営審議会	
開 催 日 時		2016年(平成28年)8月30日(火) 午前10時00分～午前11時30分	
開 催 場 所		藤沢商工会館ミナパーク502会議室	傍聴者数 0人
出 席 者	会 長	山崎 仁	
	委 員	石澤 仁子・井上 美鈴・小野島 真・菊田 稔・酒井 憲司 高木 きみ子・田中 輝子・永島 柳子・布川 晃・山口 燿子	
	事 務 局	田代部長 土木計画課：鈴木参事・平本補佐・小野寺・村田・吉原・三澤 下水道整備課：張ヶ谷課長 下水道施設課：浅場参事・真間主幹 浅井辻堂浄化センター長・中丸補佐 加藤大清水浄化センター長・一ノ瀬補佐 土木維持課：北村参事・鈴木専任補佐 下水道業務課：広田参事・山本補佐	
議題及び公開・非公開の別		1 藤沢市下水道使用料の見直しについて (1) 藤沢市下水道事業短期経営計画について(平成29年度～平成31年度) (2) 資本費算入率100%について (3) 下水道使用料改定(案)について 2 その他 <span style="float: right;">(すべて公開)</span>	
非 公 開 の 理 由			
審 議 等 の 概 要		<p>1 藤沢市下水道使用料の見直しについて</p> <p>(1) 藤沢市下水道事業短期経営計画について(平成29年度～平成31年度) 短期経営方針及び使用料改定後の収支計画表を説明。</p> <p>(2) 資本費算入率100%について 資本費算入率を100%とした場合の下水道使用料不足額を説明。 資本費算入率の改定経緯、県内近隣市の状況を説明。</p> <p>(3) 下水道使用料改定(案)について 下水道使用料見直しにおける使用料体系及び基本使用料の考え方を説明。 下水道使用料の県内市町村比較及び類似団体比較を説明。</p> <p>【質疑】</p> <p>①資料1の下水道使用料見直し方針の累進度について現在の累進度を維持する とあるが、目標値(妥当な値)はどう考えているのか。</p> <p>《回答》前回の使用料改定時に累進度の見直しを行いました。基本的に適 正な額とされるものはありません。累進度が高いと大規模事業場 の転出にもつながることから、下水道使用料収入に大きな影響を及 ぼします。そのため、今後の特定汚水量の状況に応じて、検討を行 ってまいります。</p> <p>②累進度について、過去に議会や商工会議所から、下げるよう要望はなかったか。</p> <p>《回答》議会では、前回の改定時に累進度を下げた際、多量排出する事業所 は高い累進度にすべきではないという意見はありました。商工会議所か らの要望は特にありませんでした。</p>	

審議等の概要	<p>③現在の金融市場ではマイナス金利となっている中、資料1の企業債の支払利息について、利回りの計算はどのように算出しているのか。</p> <p>《回答》今後発生する企業債利息については、固定金利2.1%で計算し計上しています。</p> <p>④固定金利2.1%は高いのではないか。また、企業債は公募債でしょうか。</p> <p>《回答》市の予算編成に合わせた利率で計上しています。公募債ではなく、財政当局が入札により決定しています。</p> <p>⑤資料3-3で横浜市の状態を見るとH13年から改定を行っておらず、資本費算入率は100%です。15年間値上げがない状況から、当時の改定率が高かったのではないかと察するが、そのような改定もひとつの手法ではないか。</p> <p>《回答》長期を見すえて改定する方法もありますが、今回の改定は、管渠の老朽化対策をまず進めていくため、短期的な見通しから改定させていただく方針です。</p> <p>&lt;結果&gt;  下水道使用料の収入減少分及び管路の予防保全型維持管理費用分の4.8%については、おおむね理解が得られたので、この割合で下水道使用料を改定することが妥当と考える。ただし、資本費算入率の引き上げ分については、今後3年間でアセットマネジメントを進めることにより、下水道事業全体がどのようになっているかを把握した上で判断することとし、今回は据え置きとする。  なお、使用料の改定にあたっては、企業努力によりコスト縮減に努めるとともに、市民に内容を積極的にピーアールしてほしい。</p> <p><b>【提案】</b>  累進度については、落としていく方向が望ましいと考えますが、5000立米の単価を365円から364円へ、1円下げるのはいかがか。</p> <p>《回答》端数処理によるもののため、提案どおり1円下げたいと思います。</p> <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回、第5回下水道運営審議会の開催日と審議予定内容を説明。  開催日：9/9（金）  審議内容：答申（案）の検討、「下水道の日」作品コンクールの審査（予定）</li> <li>・前回の台風9号では警報が多く発令されたが、下水道管への影響はどうだったのか。</li> </ul> <p>《回答》河川の水位上昇による道路冠水はありましたが、被害状況は一昨年と比較すると少ない被害状況。南部にある貯留管は満水になったものの、長期で降雨が継続しなかったことから、浸水被害は発生しなかった状況を説明。</p>
	その他